True Parents' Message and News

日本語版 Vol. 27

True Peace

天一國 10年
天暦 09
2022年 陽暦10月



すべての時代の希望、平和統一世界

トーマス・ウォルシュ UPF世界会長



私は、真の父母様が 2005 年、2006 年に世界的な次元で UPF 創設を控えて、天の父母様の摂理のために毎日のように、中断なく前進されていた時代が思い返されます。特に、天宙平和連合 (以下 UPF) 創設のために 2005 年 9 月 12 日から 12 都市を巡回される中、ニューヨーク・リンカーンセンターのアリス・ツリーホールで演説され、世界の聴衆達に語られたみ言を常に心に記憶しています。

尊敬する指導者の皆様、皆様は現在祝福の時代に生きています。神様の約束が実を結び始めています。（中略）UPF は神様の勝利、真の父母様の血と汗と涙の結実であり、世界が大切にする希望を象徴します。UPF はアベル型国連の役割を遂行します。

UPF は、真の父母様の犠牲と勝利的基台の上に創設されました。真の父母様の全生涯は、天の父母様の平和理想世界王国の具現のために捧げて来られました。数十年にわたって創設された組織と運動を年代順だけで追跡してみても分かるように、すべてが平和のために創設されました。すべての機関の創設目的、ひいては真の父母様の創設演説文で「平和」という単語が含まれる理由がまさにそこにあります。平和は世界のすべての宗教の理想的価値です。それはすべての信仰人の存在目的であり、すべての個人、家庭、社会、宗教、国家、人種の目標です。それが天国本来の理想であるからです。

真の父母様によると、UPF はある特定の個人や団体の指示によって使命を与えられた訳ではありません。むしろ UPF はその名前からも分かるように、国家と民族、宗教と理念を超越した平和世界を築くための共生・共栄・共義をモットーとして、平和運動を展開しようと努力しています。

真のお父様は UPF を創設されながら、国家と政府、宗教、学界、女性および青少年、芸術および体育、言論、経済など各界各層の指導者と協力してすべての努力を傾けることを指示されました。UPF 創設以前の内容が世界平和統一家庭連合という宗教に限られていたとするならば、UPF 創設以後は教団を越えた平和運動団体として、全世界の宗教と政府のすべての領域で一つになり、平和な世の中を花咲かせるべき使命があることを語られていたように記憶します。

特に、真のお父様の聖和以降、UPF は真のお母様の指導力でそのビジョンと規模を拡張し、全く新しいレベルの発展と成就を成し遂げています。ここで最も注目すべきことは、真のお母様が、UPF を特定の部門を持つ国家指導者、国会議員、宗教指導者、女性指導者、青少年、学者、経営者、言論、哲学および芸術家などと協力し、多様に発展させるようにされた決定でした。それぞれ一つの機構が持続可能な未来のために協力し、連帯しています。そのような点で UPF は、国連が国連憲章に明示された目標を達成するために、他の国連機関を行政的に支援する国連システムと似通っています。このような内容は国連でミレニアム宣言が行われた年である 2000 年 8 月 18 日、真の父母様が共有してくださった人類の夢です。真のお父様は国連総会、安全保障理事務局および国連システムを構成する多様な機関との協力を通じて宗教間協議体を構成するようにというみ言を語られ、真のお母様はここから一歩進み、天の父母様を中心とした国連の活動を具体化するようにというみ言を語られました。

現在の UPF の成果であるワールドサミットと希望前進大会、国際リーダーシップ会議などは平和世界具現のために真のお母様によって提案され、具体的な実践として拡張された内容です。最近、世界のトップクラスの国家指導者と政治、宗教、学術、マスコミ、経済など分野別の平和 NGO 団体は、神様の宿願である UPF のビジョンを経験し、真の父母様の血と汗と涙の結実である業績を知るだけでなく、新しい挑戦と変化を準備するために変化する姿を目の当たりにしています。

真の父母様が唱えられた「韓半島統一と世界平和」の希望が実現しています。今日の世界は、世界的な危機の中で、持続可能な未来のために新しい価値観と暮らしの文化を作っていかなければならない、絶対絶命の状況に置かれています。強大国の目的達成のための権力は、破壊的な結果として地球全体を脅かしています。しかし、平和を愛する私たちの善なる知恵と力が無力ではないと確信します。必ず天の父母様の理想が実現すると信じています。UPF は理想世界の実現を中心に、天の父母様の摂理に仕え、平和の道を模索するために、神様の下人類一家族を築く上で先頭に立っていきます。

True Parents' Message and News
True Peace

www.ipeacetv.com

天一国 10年 天暦 9月（陽暦 2022.10）

CONTENTS



04


07

巻頭言

02 すべての時代の希望、
平和統一世界
トーマス・ウォルシュ UPF 世界会長

記念行事

2022 天地解怨秋夕節

10 天地解怨秋夕節での
真のお父様の祝祷

12 天一国 10 年天地解怨秋夕節

特集

特別寄稿

16 サミット 2022&
リーダーシップカンファレンス
平和統一実現

真の父母様のみ言

04 神様のみ旨とアメリカ
アメリカ合衆国建国二百周年記念講演会

07 アジアと世界を救う
真の愛運動
第一回「アジア平和女性連合」
日本東京大会

天の父母様聖会

天宙平和連合の新たな出発

19 天宙平和連合

30 鮮鶴平和賞

36 孝情世界平和財団

現場特集

40 文鮮明天地人真の父母
天宙聖和 10 周年 大陸別記念行事
お父様に会いに行こう!

44 パンタナール、
レダ農場国際青年チームの
奉仕活動



神様のみ旨とアメリカ

アメリカ合衆国建国二百周年記念講演会
一九七六年九月十八日 | アメリカ、ワシントンDC、ワシントン・モニュメント広場



私はきょう、「神様のみ旨とアメリカ」と題してお話ししたいと思います。神様は、永遠、不変、唯一の絶対者であられるので、神様の創造目的も、永遠、不変、絶対的なものであり、一つの目的のもとに統一された単一理想世界を築くことでした。しかし、今日の現実は、統一ではなく、分裂と不調和の世界、すなわち個人において、心と体が分かれ、家庭、氏族、民族、国家、世界のすべてが分かれ、分裂と闘争で綴られた混乱の様相を呈していますが、ここには根本的に、ある大きな過ちが介在しています。その原因を、宗教では人間始祖が神様に背いて堕落したところにあると見ています。

このような人間を救おうとされる神様は、人間を堕落前の立場に原状復帰するために、救世主、メシヤを送られるのです。したがって、救援摂理はすなわち復帰摂理です。堕落とは、人間が神様に背き、そのみ言を不信することによって、神様に似た人格と愛を具現した個人と世界を完成することができず、かえってサタンと組み、サタンの言葉に主管されることによって、サタン的人格とサタン的愛による悪の世界を形成したことなのです。

したがって、原状に復帰するためには、反対にサタンを排斥し、失った神様を探して、神様のみ言に従順に従うことによって、天的な人格と愛を完成しなければならないのです。神様は最も公的な方であられ、サタンは、徹頭徹尾、自己を中心とした私的な存在です。したがって、神様のもとに帰るための復帰の公式は、最終的に神様に似ることなので、徹頭徹尾、私的なことを犠牲にし、公的なことを立てて、自己を中心とした利己主義から人のために生きる利他主義へと帰り、奉仕生活をしなければならないのです。公的な人は、神様に似ているので必ず栄え、私的な人は、神様に背いたので結局は滅びるのが天理なのです。

人類歴史は、これまで闘争の歴史だったので、神様とサタンが人を奪い合う闘いでした。堕落によって悪の歴史が先に出発したので、闘いはいつも悪の側が先に攻撃して善の側を打ち、善は打たれながら守勢に回りましたが、神様が善の側であられるので、いつも勝利を収めるようになり、結局は打たれて取り戻してくるようになったのです。第一次、第二次世界大戦の時にも、私たちが知っているように、先に打ったほうが結局は滅び、第三次世界大戦をうんぬんしている今日も、サタン側である共産国家が至る所で闘いを仕掛けていますが、結局は神側が勝利するようになるのです。

復帰摂理のもう一つの公式は、メシヤを送られる前に、中心宗教と中心国家を立てて役事（働き）されることです。神様は先にイスラエル民族とユダヤ教を立てられ、その準備された基盤の上にメシヤであるイエス様を送られ、すべての人間が次第に彼と一つになるようにして善の版図を広げていき、世界復帰、すなわち天国の理念を具現しようとされたのです。

今、キリスト教とアメリカは一致団結し、復帰の聖業を成し遂げてさしあげなければなりません。アメリカはここで結実した西洋文明を抱いて東洋文明と和合し、その上に中東を連結することによって一大統一文化圏を形成して、地上天国を完成しなければならないのです。

摂理的責任を負うべきアメリカ

み旨の主役であるアメリカは、まず神様の摂理の第一中心宗教だったユダヤ教と、ユダヤ教を引き継いだキリスト教と一つになり、新しい啓示を中心として「終わりの日」に神様のみ旨によって現れた統一教会と手をつないで、世界の宗教統一に立ち上がらなければなりません。ユダヤ教は旧約を中心としたみ旨の先祖





ワシントンモニュメント広場に真の父母様の講演を聞くために集まった30万人の群衆(1976.9.18)

なので第一世型の長男であり、キリスト教は新約を中心とした第二世型の次男であるとすれば、統一教会は約束を成就する「成約」の内容をもつ第三世型の末の弟です。この三つの宗教は、み旨の三兄弟なので、それらの母体であるイスラエルとアメリカと韓国は、み旨の三兄弟国となるのです。国連でサタン側の共産圏からこれら三国が同じように追われているのは、み旨の観点から見て、共同運命に置かれているからです。この三国が一体化して手をつなぎ、国連本来の使命と機能を回復し、内的には宗教を統一し、外的には世界統一を成し遂げなければなりません。「神様のもとの一つの世界」は、神様の永遠、不変、絶対の願いであり、目的なので、必ず成就されるのですが、まず宗教統一をしてこそ可能なのです。一人の父であられる神様に侍り、一人のメシヤのもとで「神主義」によって固く結束すれば、神様が共にいらっしゃるので、世界復帰、すなわち地上天国の具現は時間の問題なのです。

皆様。今この時に、神様は悲痛に叫ばれています。神様が二千年間準備されたアメリカは、大きく覚醒し、神様が仰せになった重大な世界的使命を果たさなければなりません。そのためには、最終的にアメリカが徹頭徹尾、「神主義」に帰り、共産主義を克服し、共産世界を解放し、地上天国建設の旗手にならなければなりません。アメリカはきょう、覚醒しなければなりません。あすでは遅いのです。

私は、アメリカを尊敬しているだけではなく、本当に愛しています。神様が愛で祝福され、み旨成就の主役として準備された偉大な国、アメリカが第三世紀へと向かう大きな歴史の入り口にいるので、私たちは共に、全能の神様のみ前に、絶対に失望させず、神様の本然の願いをかなえてさしあげることを固く誓いましょう。

きょう、この神聖な場で、みな共に地上天国の礎石を据えましょう。神様の摂理の同参者、また天国の開拓者として立ち上がりましょう!

統一を願う働き手たちよ、きょう、この場とこの歴史的瞬間は、私たちにとって献身の場であり、決意の時間です。私たちの汗と血と命を捧げて神様の召命に応えようとするなら、正にこの場、この瞬間に、天と地と人類の前に誓い、地上天国を私たちの手で成し遂げることをもう一度闡明しましょう!

神様の祝福が皆様と皆様の御家庭とこの美しいアメリカに、永遠に臨むことを願いながら、私の話を終えようと思います。多くの御家庭が参加してくださったようです。皆様、ささやかではありますが、今夜、花火を皆様の御家族と共に楽しんでくださることを願ってやみません。皆様の御健康をお祈りいたします。ありがとうございました。

アジアと世界を救う真の愛運動

第一回「アジア平和女性連合」日本東京大会（真のお母様）
一九九一年九月十七日 | 日本、千葉、東京ベイＮＫホール





アジア平和女性連合創設大会(1991.9.17 東京ベイ、NKホール)の全景

「アジア平和女性連合」の指導者の皆様。世界は今、歴史的な大転換期を迎えております。一九一七年のロシア革命以来、七十年近くにわたって、世界の半分以上を席巻しながら数億人もの人々の血を流し、全人類を恐怖と戦慄のるつぼに追い込んできた共産主義の宗主国ソ連が、ついにその赤い旗を降ろし、歴史の彼方へと消え去ることになりました。

これは取りも直さず、神様を否定する無神論の世界観が敗亡したことを意味し、葛藤と闘争と憎悪の哲学が、その限界を露呈し、共産党による一党独裁体制がその破滅を宣言したものです。しかし、このような共産主義の滅亡は、私たちに一つの重要な事実を悟らせてくれます。それはすなわち、共産主義の滅亡は、決して自由民主世界の勝利を意味してはいないという点です。経済的平等を主張して出発した共産主義が、かえって経済的な破綻によってその終焉を告げたように、自由の理想を唱えて立ち上がった自由民主世界もまた、その自由というものの陰で、性道徳の紊乱や暴力、麻薬中毒など、激しい価値観の混乱による社会的破綻を迎えているのです。

戦後四十数年にわたる冷戦時代は、結局のところ、勝者なく、左右双方が敗者となったゲームとして幕を下ろすことになったのです。今こそ共産主義世界だけでなく、自由民主世界も新たに救済されるべき時であることを悟らせてくれているのです。

尊敬する女性指導者の皆様。

昔の諺に「家和して万事成なる」という言葉があります。これはすなわち、家庭こそが平和の根本であるという意味です。そして、このような家庭を築く上で最も重要な要素が真の愛です。真の愛とは、愛の中でも神様を中心とした絶対愛のことをいいます。すなわち、愛せないものまでも愛するのが真の愛なので、真の愛によれば怨讐までも愛さざるを得なくなるのです。さらに相手のために生命までも捧げる犠牲的な愛が真の愛です。そのため、真の愛のもとでは、個人はもちろん、社会や国家間の対立や葛藤さえも完全に超越し、溶かされて、真の平和が成就するのです。

この真の愛は、創造と繁殖と発展の原動力となります。つまり、すべてのものは投入すれば消耗し、終わってしまいますが、真の愛は投入すればするほど大きくなり、さらに増加して返ってくるのです。そのため、このような真の愛の中でのみ「永生」という言葉が可能となり、真の愛を実践する家庭と社会は永遠に滅びることなく発展するのです。

このような点から見ますと、私の夫で



歓迎のあいさつを受けられる真の父母様

ある文鮮明牧師が教えてきた「ために生きる」という言葉は、平和な世界を建設する基本的な指針となるものです。

尊敬する「アジア平和女性連合」の指導者の皆様。来たる二〇〇〇年代は、米ソ両国の対立時代でも、多国による混乱の時代でもなく、神様の真の愛を中心とした神様の世界にならなければなりません。経済力や軍事力による世界支配の論理が存在していた弱肉強食の時代は過ぎ去り、今や神様の真の愛を教える「神主義」に基づいて、東と西、南と北、そしてすべての文化と人種と思想が一つに溶け合い、一つの世界をつくらなければなりません。

「神主義」は今、アジアから出発して、アジア太平洋文明圏を建設しなければなりません。「神主義」を中心としたアジアは、これ以上の反目や葛藤、闘争があってはなりません。自分のためよりも、全体のために生きようとする真の愛の実践によって、アジア人自らが世界平和を成就する見本を示さなければなりません。

世界から富の祝福を受けた日本の行くべき道は、今や世界のために生きる「真の愛の精神」を土台として、世界の痛みを自分の痛みとし、世界の問題を自分の問題として、世界のために犠牲となり、奉仕することによって、世界平和建設の主役にならなければなりません。

過去、第一次世界大戦時には国際連盟、第二次世界大戦時には国際連合が、それぞれ戦後の問題を解決するために設立されましたが、今日、第三次世界大戦と言える、過去四十数年間の冷戦時代が残してきた数多くの深刻な問題を解決するには、全く力不足であるというのが実情です。

人種や文化の葛藤の解決、貧富の格差の解消や自然保護、そして真の倫理的価値観の確立などが、現代の人類が世界的次元で新たに取り組んでいかなければならない課題です。

尊敬する日本の女性代表の皆様。これから皆様がアジアと世界のために与えようとする真の愛の実践者となるならば、きょうのこの歴史的な大転換の時点は、日本はもちろんのことアジアが世界へと飛躍できる重要な出発点となるでしょう。

皆様がアジアの母、世界の母として生活舞台の幅を広げ、次元を高めて、新しいアジア、新しい世界建設の先頭に立ってくださることを切に願うものです。これこそが、誰も避けることのできない、歴史が今日の私たちに与えた宿命的課題なのです。

アジアが神様の真の愛を中心として正しく立つとき、アジアの未来は無限に明るくなります。さらに、この世界に永遠の平和の秩序が定着する希望の未来が約束されるのです。新しいアジアの平和と世界の未来のために、より一層の努力をしてくださることを切にお願いいたします。ありがとうございました。

天地解怨秋夕節での真のお父様の祝祷

真の父母様は、人間始祖の堕落以降、天上地獄と地上地獄で生きられる天の父母様を解放し、霊人と被造万物を解放する摂理を生涯の路程として展開された。真のお父様は、聖和される前の祈祷で「すべて成した」という摂理的勝利の宣布をなさってから霊界に行かれた。

真のお父様天宙聖和 10 周年天城入城安着完成の土台の上に、真のお母様は天地解怨秋夕節の茶礼 (チャレ) が、天一国敬礼記念式に変わったことを告げられ、霊界の真のお父様と地上の真のお母様に侍り、家庭連合の食口たちが解放された世界の主役として、創造本然の理想を実践して生きていかなければならないことを改めて悟らせてくださった。

愛するお父様!今日は天一国５年、秋の収穫期を期して、9月18日(旧暦８月15日)の秋夕節を中心として、天地解怨秋夕節を天と地を代表して、真の父母と天地父母の名により、この日を記念するために集まりました。

12 日を中心として、天宙平和連合創設と共に、地上に天一国の基盤を中心とした国と、国家を代表する世界の天の平和国連のアベル国連勝利圏を中心として、全体・全般・全権・全能の役事に代わる神様の愛の主権を、この地上に奉ることのできる時代を迎えました。本日 18 日を中心として、天地解怨秋夕節を記念できるようになりましたので、天よ、祝福してください。地と天の祝福家庭が共に参加した場で、天宙の父母様に侍ってこの式典を奉献いたします。

天と地が新しい朝日と新しい秋夕の 18 日の明るい天下をお父様の前にもう一度捧げ、それだけでなく、新しい太陽、新しい月を中心に、新しい海と新しい空気と新しい陸地を中心とした解怨の峠を越えて、地上の勝利の覇権的主権を中心として、千年万年太平聖大の解放・釈放の地上・天上天国解怨の世界へと前進していけるこの時を共にされ、神様の創造理想の全権的最頂上に立って、愛の主人として愛を中心に万物を統治することのできる時代を再び復帰させてくださったお父様の前に感謝いたします。万有の一切すべてを、今日を期して根本的な解放と釈放、堕落の根源を解消し、万国万象全体の前に釈放と解放圏を宣布することのできる、このようなことを記念することになりましたので、これからは霊界に行ったすべての霊人たちは、アダム家庭の最初から今日まで、祖国光復を中心とした勝利の覇権に代わって、16 歳で堕落しなかった本然の血統基準を受け継いで、天と地の祖国に代わって訪問し、一体化させられる時代を開門いたしますので、お父様、祝福してください。

すべての善なる霊と悪しき霊の圏内になっていた善なる真の父母の愛の覇権的勝利の権限を中心とし、堕落の解放圏・釈放圏の上に立って、天上と地上が、内外が一つとなり、先天時代と後天時代が入れ替わってしまったことを正し、天が地を頼りどころとすることができ、地上の勝利的覇権が、天上世界の覇権を備えた



長子圏の愛の覇権的主人として、万国を代表した王の中の王として、天地人父母に侍る解放·釈放の記念日を祝うようになったことに感謝いたします。

勝利の覇権、天一国平和王国の上にそびえ立ち、あまねく主の主将、主人の長として自主的な権限であらゆることを主管し主導することのできる、解放·釈放の世界へ、天一国が一体化した一つの本郷と故国を自由に訪問できる、故郷と祖国の主人に代わる天一国の民として、霊界と肉界の聖人·賢哲の全てを、お父様、奉献し入籍させますので、今日を期して、最後の勝利の栄光を称えることのできる日として受け入れてくださることを切に願います。

この日のために、韓国、日本、アメリカ、そして６大陸の代表と、この場を祝うすべての人々、全体を代表した地上の真の父母の血族を中心として、勝利の血族として天国の王族·血族の階級を相続できる万国·万象のすべてが、解放·釈放圏の血族の上に立って、自由に地上·天上を隙間なく行き来できるよう祝福してくださることを切に願います。

この記念日を中心として、今日、秋夕のこの日を記念して、すべてを天と地に対して宣布いたしますので、お父様、喜んでお受け取りくださるよう切に望み願いながら、真の父母の名により切に報告し宣布いたします！アーメン！「アーメン！」アーメン！「アーメン！」アーメン！「アーメン！」

み言選集 508 巻 112～114 ページ。2005 年９月 18 日（旧暦８月 15 日）、イーストガーデン。





天一国10年天地解怨秋夕節

天一国 10 年天地解怨秋夕節 17 周年を迎え、天一国 10 年天暦 8 月 15 日 (2022.10.10) の午前から午後まで、真の父母様をお迎えする中、天心苑敬礼記念式 (午前 9 時) と、特別晩餐会 (午後 5 時) を始まりに、夕方からはお月見のイベント (午後 8 時) が行われた。

天一国 10 年天地解怨秋夕節 天一国敬礼記念式

天地解怨秋夕節 17 周年を迎え「天一国 10 年天暦 8 月 15 日、真の家庭の 2 世・3 世・4 世の子女様たちと鄭元周 (チョン・ウォンジュ) 総裁秘書室長、尹煐鎬 (ユン・ヨンホ) 世界本部長、李基誠 (イ・ギソン) 天心苑長をはじめとする、5 大陸の天一国指導者と中心食口が集まる中、HJ 天宙天寶修錬苑の天心苑で行われた。

チョ・ソンテ世界本部総務処長の司会で行われた記念式は、

文孝進様家庭の文妍娥 (ムン・ヨナ) 様と文信出 (ムン・シンチュル) 君、文信興 (ムン・シンフン) 君が入場し、ろうそく点火から始まった。

続いて李基誠天心苑長は、報告祈祷を通じて「天一国 10 年天地解怨秋夕節を迎え、霊・肉界のすべての祝福家庭が、月と夜通し対話される真のお母様の心情と共鳴しながら、一つの心情共同体になれるよう前進しよう」と呼びかけた。

続いて鄭元周総裁秘書室長は、真の父母経第 1 編第 1 章 4 節、「縦的父母は神様、横的父母は真の父母様」というサブタイトルのついたみ言から、根の先祖であられる神様について訓読した。

尹煐鎬世界本部長は、真のお母様の特別公示で「天地解怨秋夕節の茶礼 (チャレ)」が、今年から「天地解怨秋夕節天一国敬礼記念式」に変わった意味について説明した。





ろうそく点火



(左から)　み言の訓読をする鄭元周総裁秘書室長、真のお母様の特別公示を伝える尹煐鎬世界本部長、報告祈祷をする李基誠天心苑長、趙萬雄神統一韓国国民連合元老会会長の億万歳先唱

「日常的に秋夕は、一年の実りを先祖たちに感謝して捧げる日です。特にこの日を真の父母様が、2000年9月12日に総解怨秋夕節と宣布されました。そして霊界が標準化されるようになさいました。そして2005年5月18日、アメリカのイーストガーデンで、天地解怨秋夕節と命名され、霊界の大きな祝福の一日というみ言と共に、天の父母様に、根の先祖であられる天の父母様に、この精誠のひと日を奉献してこられました。これらすべては、永遠なる本郷で、神様の子女たちが、人類を思う存分抱くことのできる日だけを指折り数えて待ってきた人類の真の先祖、縦的真の父母様であられる天の父母様が、実体的に安着できる神氏族、神国家、神世界、神天宙を創建なさるための真の父母様の祝福であり、愛であり、贈り物です。

特に天の父母様と一つになられた真の父母様、特に真のお父様の天城入城安着完成10年の年を迎え、7月3日、お母様が自ら釜山教区で40日の精誠出征式を実際に主管され、真のお父様天宙聖和10周年聖和祝祭の26の行事を、10日間で大勝利した土台の上に、真のお母様は天の父母様と真のお父様に喜びと勝利を捧げられ、今日、この秋夕節を迎えて、天一国敬礼記念式という名称をお許しくださいました。」とし、「今日、天一国敬礼記念式という名称で1年間の結実を結び、先祖に感謝の気持ちを捧げるのが秋夕の意味であるため、私たちの真の先祖である天の父母様と真の父母様に、私たちが1年の実りを捧げ、また新しい出発のための決意をする、文字通り60カ月の路程を通して、神統一韓国を越え、神統一世界のために前進する決意の場になるようにという意味から、お母様が天一国敬礼記念式をお許しくださったということを伝え、貴い秋夕節の茶礼(チャレ)の意味を越えて、天一国敬礼記念式として新たに新しい伝統を作ってくださった真の父母様に大きな感謝の拍手をお願いします。」

全体を代表して趙萬雄(チョ・マヌン)神統一韓国国民連合元老会会長の音頭で、出席者たちは力強く億万歳を叫び、摂理の結実期にその役割を果たすことを誓った。

(また、午前10時に坡州原殿では、朱鎭台(チュ・ジンテ)会長他が参加する中、第1地区の主管で秋夕節の参拝が行われた。)





天地解怨秋夕節の坡州原殿参拝式全景







1. み言を語られる真の父母様
2~3. 花束奉呈(真のご家庭、祝福家庭の2世・3世)

天地人真の父母様招聘 天一国 10 年天地解怨秋夕節 特別晩餐会

「天地人真の父母様招聘天一国 10 年天地解怨秋夕節特別晩餐会」が天正宮博物館で午後 5 時から行われた。

真の父母様は晩餐会に先立って「100 年ぶりの最も大きな丸い月の中秋に、天一国の実質的な未来に、影のない明るい天一国が続くでしょう。」という言葉と共に喜びを表わされた。

特別晩餐会は尹煐鎬世界本部長の司会により、開会宣言、敬礼、花束奉呈、ケーキカット、礼物奉呈、真の父母様のみ言、勝利提議、記念晩餐会、特別公演、授賞の順で行われた。

この日の秋夕節を祝って「孝情特技自慢」に、UPA、YSP、天正宮世界本部、HJ 天宙天寶修錬苑などから合計 7 チームが参加し、ラップ、沖縄民謡、サムルノリ、ダンス、ゴスペル、演歌、コントが孝情の心情を込めて多彩に行われた。その結果、天宙平和士官学校 (UPA) が栄誉の大賞を受賞し、真のお母様が直接賞を授賞してくださり、秋夕節をより一層輝かせてくださった。世界平和青年学生連合の会長たちの億万歳を最後に特別晩餐会が終了した。











1~2. 礼物奉呈(神統一韓国5地区会長、3万家庭会役員)
3. 孝情特技自慢で大賞をとったUPAの記念撮影
4. 天地解怨秋夕節の晩餐会全景

お月見

特別晩餐会の後、真の父母様は席を移して秋夕のお月見行事を主管された。

真の父母様に侍り、真の家庭と主要な公職者たちが周りに座って、真の父母様の愛唱歌を一緒に歌うと、天聖山の上に 100 年ぶりの最も丸く大きな満月が、その威容を誇って姿を現した。

天地解怨秋夕節を迎え、真の父母様に侍ってお月見に参加した指導者たちは、天聖山 (長楽山) の横に現れた丸い月を見ながら、真の父母様と願いを込めながらお月見に臨んだ。



サミット2022&リーダーシップカンファレンス
平和統一実現

マイケル·ジェンキンスUPF世界会長



尊敬する天一国指導者、そして祝福家庭の皆様、私はまず UPF の共同創設者であり、平和の母であられる韓鶴子総裁に「文鮮明 天地人真の父母 天宙聖和 10 周年記念行事」と「2022 年ワールドサミット」、「リーダーシップカンファレンス」を大勝利に導いてくださったことに、限りない感謝の気持ちを申し上げたいです。

ワールドサミットはいくつかの主要アジェンダを持っています。まず第一にアフリカ統合の発展、第二にアジア統合発展、第三に UPF とワシントンタイムズのファクトファインダーを通じた北東アジアの安全保障と南北統一、第四にワシントンタイムズ 40 周年記念に焦点を合わせました。

このすべての内容は今年 8 月、世界平和統一家庭連合の韓鶴子総裁が文鮮明総裁聖和 10 周年を称える聖和 10 周年記念行事で絶頂に達しました。

UPF の尹煐鎬 (ユン・ヨンホ) 世界本部長と UPF のトーマス · ウォルシュ議長は、すべての大陸の実務指導者の後援で会議を招集し、特に北米の UPF 指導者に感謝の挨拶を伝えました。

すべての大陸で意味のある証があると思いますが、私は北米代表団としての証の一部を共有したいと思います。

ドナルド · トランプ元大統領の精神的助言者であるポーラ · ホワイト牧師は「文鮮明総裁は平壌で 2 年 8 ヶ月間収監され、死の峠を数度越えながらも、ただ神様を慰めて差し上げながら、北朝鮮を救おうとする愛の思いでその苦痛を乗り越えられました。韓鶴子総裁もまた、敬虔なキリスト教の家庭に生まれ、5 歳の幼い頃、イエス様の召命によって、祖母と母に従って南下しました。彼女は自身の祖国を再び一つにしたいという夢と使命を守りました。」と話し、「真のお母様、私たちが皆、2022 ワールドサミットに参加することになったのは、お母様、あなたが勝利しており、韓半島の平和統一は必ず来ると確信しているためです。」と話しました。

他の北米講演者としては、ニュート · ギンリッチ元米下院議長、スティーブン · ハーパー元カナダ首相 (2006~2015)、UPF/ ワシントンタイムズ真相究明代表団、スターリングス大司教、米国聖職者協議会 (ACLC) 指導部などが参加しました。

マイク · ポンペオ元米国務長官は、真のお父様に一生忘れることのない追悼の意を伝えました。真のお父様の生涯について、元 CIA 長官 (2017-2018) と米国務長官 (2018-2021) の反省は、北東アジア関連国と特別に韓国、そして北朝鮮などすべての国に真剣に受け入れられることを確信しています。



マイク・ポンペオ長官が、真のお父様がキリスト教徒として歩んで来られた道を最も明確に要約したものの一つを伝えます。次は彼が共有した内容を比喩したものです。

文総裁は他のキリスト教牧師たちと共に興南特別労務者収容所に移送された。収容所で共産主義を注入するよう強要され、悟ったことが２つがある。まず、神様に対する絶対的信仰を持つこと。そして二つ目に、共産主義は神様の存在を否定するため、中断されなければならないということである。
マッカーサー将軍が興南収容所を解放し、文総裁と２人の収容者は志を共にして南下した
彼は聖霊会を結成して日本と韓国の共産主義と戦うために働き、同じ仕事をするためにアメリカに渡った。世界的に共産主義と戦うために、文総裁はワシントンタイムズを創刊し、金日成主席が暗殺者を送ったが生き残り、イエス様の教えに従って北朝鮮に戻り、怨讐を愛した。文総裁は、金主席の側近たちに『主体思想は神様を否定するものだ』と伝え、これに対して警告をした。逮捕されるかもしれないという考えもよぎったが、奇跡が起きた。金主席が文総裁を食事の場に招待し、この２人はついに家族のようになった。
文総裁の聖和以後、韓鶴子総裁は彼らが一生を捧げた偉大なる業績を続けながら、中国、ロシア、北朝鮮だけでなくアフリカ、ヨーロッパ、中東、アジア、アメリカのすべての指導者を愛で包容した。2022 ワールドサミット期間を通じて、私たちはその姿を目の当たりにした。すべての指導者は、南北の平和統一に向けた彼女の努力に賛同している。韓総裁は文総裁と共に始めたこの使命を広げる上で、立派な業績を成し遂げた。
韓鶴子総裁! 南北が平和に一つになると心から申し上げたい。
この聖和記念日に私と妻のスーザンは、平和のために努力された文鮮明総裁と韓鶴子総裁の苦労に感謝し、南北統一が実現することを祈る次第である。
—マイク・ポンペオ 元米国務長官

マイク・ポンペオ長官の祝辞に聴衆が深い感動を与え、忘れられない歴史的な日となりました。私たちはマイク・ポンペオ長官の素晴らしいメッセージに心から感謝しています。

真のお母様は「このような権威ある指導者たちと共に、国政に参加して、天の父母様に仕える時、平和のために共に仕事ができるのです。」と語られました。

文鮮明 天地人真の父母 天宙聖和 10 周年祝勝会で、真のお母様は「霊界のありのままに、この地上に地上天国を成功的に建設し、世界平和実現のための環境造成を完了し、2027 年、勝利の日には必ず祝うことを約束する。この日は韓半島統一となり平和な一つの国家を回復すれば、全人類のための希望の世界になる日である。」と語られました。

特集

天の父母様聖会
天宙平和連合の
新たな出発



天宙平和連合
Universal Peace Federation

天宙平和連合 (UPF) には、2005 年 9 月 12 日、アメリカニューヨークのリンカーンセンターで、文鮮明・韓鶴子総裁ご夫妻の宣言で創設された超宗教・超国家的国際機関として、「国連経済社会理事会 (ECOSOC)」が付与した国連最上位等級の「包括的協議地位 (General Consultative Status)」がある。

国家間の葛藤や対立の解消、宗教間の平和、結婚と家庭の強化など、地球村の紛争を終息させ、平和世界を実現させるという目標で、宗教、政治、経済、文化、芸術、言論、学術など全ての分野の専門家が連帯し、共生・共栄・共義の地球村平和共同体と恒久的平和世界の実現のために、世界 194 カ国で活動している。

総裁ご夫妻が提示された共生・共栄・共義のビジョンを実現させるため、天宙平和連合 (UPF) は、世界平和頂上連合 (ISCP)、世界平和国会議員連合 (IAPP)、世界平和宗教人連合 (IAPD)、世界平和学術人連合 (IAAP)、世界平和言論人連合 (IMAP)、世界平和経済人連合 (IAED)、世界平和芸術人連合 (IAACP) と連帯し、毎年ワールドサミット (World Summit) と国際指導者会議 (ILC、International Leadership Conference) を開催している。

また、平和と人間社会の発展に大きく寄与した人物と団体に鮮鶴平和賞を授賞し、未来志向的な平和ビジョンを奨励することで、世界中に蔓延した苦痛と葛藤、貧困と不平等、環境と飢餓問題を解決するグッドガバナンス (Good Governance) 運動を開催している。



WORLD SUMMIT 開催沿革

NO	SUMMIT	Date	Location
1	ワールドサミット 2006	2006.6.10	韓国、ソウル
2	ワールドサミット 2007	2007.2.21	韓国、ソウル
3	ワールドサミット 2008	2008.2.13	韓国、ソウル
4	ワールドサミット 2013	2013.2.23~25	韓国、ソウル
5	ワールドサミット 2014	2014.8.12	韓国、ソウル
6	ワールドサミット 2015	2015.8.27~31	韓国、ソウル
7	ワールドサミット 2017	2017.2.1~5	韓国、ソウル
8	ワールドサミット 2019	2019.2.7~10	韓国、ソウル
9	ワールドサミット 2020	2020.2.3~9	一山、キンテックス
10	ワールドサミット 2022	2022.2.11~13	HJグローバルアートセンター (非対面 オンライン)
11	ワールドサミット 2022	2022.8.11~13	韓国、ソウル

☆ 2018 年から本格的にアフリカ、ラテンアメリカ、ヨーロッパ、アジア太平洋などで数十回の大陸サミットを開催し、恒久的な平和世界実現と世界唯一の分断国家である韓半島の平和統一に向けたトップクラスの指導者たちの積極的な共感と支持を得た。















1. 2022韓半島平和サミットでの真の父母様の特別演説
2. 2022韓半島平和サミットでのフン・センカンボジア首相の基調演説
3. 2019ワールドサミット決議文に署名される真の父母様
4. 2020ワールドサミット懇談会でみ言を語られる真の父母様
5. 2020ワールドサミットでのジム・ロジャース会長の基調演説
6. 2022韓半島平和サミットドナルド·トランプ元米大統領の基調演説
7. 2020ワールドサミット記念撮影

大陸別SUMMIT開催沿革

NO	SUMMIT	Date	Location
1	2018 ワールドサミットアフリカ	2018.1.18	セネガル、ジンバブエ
2	2018 中南米ワールドサミット	2018.8.2~3	ラテンアメリカ
3	2018 アフリカ大陸サミット	2018.11.21~28	サントメ·プリンシペ
4	2018 アジア·太平洋サミット	2018.11.30~12.3	ネパール、カトマンズ
5	2019 アフリカ大陸サミット	2019.6.7~8	南アフリカ共和国、ヨハネスブルグ
6	2019 日本名古屋4万希望前進大会	2019.10.4~6	日本、愛知県名古屋市
7	2019 東南ヨーロッパ平和サミット	2019.10.25~27	アルバニア、ティラナ
8	2019 アジア·太平洋サミット	2019.11.18~21	カンボジア、プノンペン
9	2019 アフリカ大陸サミット	2019.11.27~12.7	ニジェール(2019.11.27~29) タンザニア(2019.11.30) 南アフリカ共和国(2019.12.7)
10	2019 中南米、カリブ海サミット	2019.12.14~15	ドミニカ共和国
11	2019 アジア太平洋令夫人サミット	2019.12.9~12	パラオ、コロロ









1. 2019アフリカサミット(サントメ·プリンシペ)
2. 2019アジア太平洋サミット(カンボジア)
3. 2019アフリカ大陸サミット(ヨハネスブルグ)
4. 2019中南米カリブ海サミット

世界平和頂上連合

(ISCP, International Summit Council for Peace)

「今人類は、創造主神様に侍る運動をしなくてはなりません。ここに集まった首脳たちは、故国に戻ったら平和世界のために国家のメシヤとなり、韓国民族は天が祝福した国として神様に侍る人類一家族平和世界建設のために立ち上がってください。」(天一国 7 年 天暦 1 月 4 日、2019.2.8)

世界平和頂上連合 (ISCP) は人類の繁栄と共存を追求するため、世界の前職・現職国家首脳と世界の著名人が集まって、地球に蔓延した領土紛争、宗教と人種の葛藤、環境と気候変化、暴力と貧困などの主要問題を解決するために作られた超国家的ネットワークである。

天一国 7 年 天暦 1 月 4 日 (2019.2.8)、蚕室のロッテホテルで世界の前職・現職国家首脳約 1,200 人が参加する中、「私たちの時代の主な挑戦課題 : 共生・共栄・共義と普遍的価値」という主題で出帆した。

世界平和頂上連合 (ISCP) の出帆後、天一国 8 年 1 月 (2020.2) に開催された初の「世界平和頂上連合 (ISCP) 総会」では、前職・現職の首脳約 100 人が集まって、新たに台頭してきた太平洋文明圏時代に韓国が先導的中心国家として成長するための「アジア · 太平洋ユニオン」の提案と、韓半島の恒久的平和のための様々な議題について議論された。

今後、世界平和頂上連合は、世界平和頂上会議 (World Summit) をはじめ、国際指導者会議 (ILC、International Leadership Conference)、宗教間リーダーシップカンファレンス (IRLC、Interreligious Leadership Conference) および、宗教間の平和構築のための協議会の提案、中東平和イニシアティブ (MEPI)、北東アジア平和イニシアティブ、バルカン半島平和イニシアティブなど、持続的な平和を維持するために政治、経済、宗教、外交、安保および市民社会との連帯を通じて、人類一家族の理想実現をめざす。









1. 2019 ISCP出帆式
2. 2020 ISCP総会で特別演説をされる真の父母様
3. 2020 ISCP総会で歓迎の挨拶をする潘基文前国連事務総長
4. 2020 ISCP総会の全景

世界平和令夫人連合

(IAFLP, International Association of Frist Ladies for Peace Assembly)

「すべての文明は大韓民国を中心に太平洋文明に結実します。それは天の天命です。したがって、私たちはかつてはキリスト教の基盤に基づいていましたが、奪い、征服する文明に転落した「大西洋文明」のような「利己的文明」ではなく、与えてもまた与える、天の父母様の真の愛の心情に基づいた孝情文化が根本となる「利他的文明」の太平洋文明圏を作り、安着させなければなりません。

したがって太平洋文明は、人類歴史の遺産である大陸文明と海洋文明、東洋文明と西洋文明、精神文明と物質文明の大和合·大統一を成し、さらに一歩進んで「天の父母様の下、人類一家族」の理想を実現した共生·共栄·共義に基づいた平和理想世界のモデルを作らなければなりません。」(天一国 7 年 天暦 11 月 14 日、2019.12.10)

世界平和令夫人連合 (IAFLP) は、各国の首脳夫人と世界的な女性指導者が、女性中心の平和運動を拡散し、女性の価値を活用して、和解と平和の美しい地球村を作るためのネットワークである。

天一国 7 年 天暦 11 月 14 日 (2019.12.10)、36 カ国の約 300 人が参加する中、南太平洋のパラオ共和国のガラマヨン文化センターで「我々の時代の危機と挑戦 : 共生 · 共栄 · 共義」をテーマに「アジア太平洋令夫人連合出帆式」が開催された。

「アジア太平洋令夫人連合出帆式」を基盤として、天一国 8 年 天暦 1 月 12 日 (2020.2.5) 京畿道高陽市一山のキンテックスで、世界 18 カ国の前職・現職の大統領夫人をはじめ、32 カ国から約 90 人の女性指導者が参加する中、「世界平和のための令夫人イニシアティブに向けて - 平和文化造成」というテーマで、世界平和令夫人連合 (IAFLP) の出帆式が開催された。

これから世界平和令夫人連合 (IAFLP) は、地球村平和文化造成のための女性指導者の力量強化に重点を置いた実践的なプロジェクト開発と、各界各層の女性指導者ネットワーク形成のコンセンサスを高め、人種、宗教、思想を超えて、真の愛で人類一家族の平和世界を建設する先頭に立つ運動の展開をめざす。









1. 2019アジア太平洋令夫人連合出帆式で創立者がメダルを授与
2. 2019アジア太平洋令夫人連合出帆式で創立者基調演説を代読する文薫淑世界平和女性連合世界会長
3. 2019アジア太平洋令夫人連合出帆式で開会の辞を述べるパラオ共和国のデビー·レメンゲサウ大統領夫人
4. 2020 IAFLP出帆式(蚕室ロッテホテル)全景

世界平和国会議員連合

(IAPP, Assembly of the International Association of Parliamentarians for Peace)

「世界では今、言葉では言い表せないくらい悲惨な出来事が起きており、人間の力では到底解決できない所に至っています。このため、アメリカなど世界各国の国民を代表する議員たちの責任が重大です。新しい摂理の時代を迎え、今や一人の責任者よりは、国民を代表する国会議員の仲保者が必要です。」(天一国 4 年天暦 10 月 1 日、2016.10.31)

世界平和国会議員連合 (IAPP) は、世界各地で発生している国家間の領土紛争、宗教紛争、人種葛藤、環境破壊、気候変動、暴力的な極端主義、貧困と飢餓、核拡散などの問題に対処し、人類が共生・共栄・共義の道を追い求め、未来世代に恒久的な平和世界を残すため、天一国 4 年 天暦 1 月 8 日 (2016.2.15)、韓国国会で創立発議および支持署名式を開催した。

世界平和国会議員連合 (IAPP) は、韓国の国会議員会館での創立発議式を皮切りに、(陽)7 月、アジア・オセアニア圏創立大会 (ネパールのカトマンズ、29 カ国 500 人)、(陽)8 月、西・中央アフリカ圏創立大会 (24 カ国 400 人)、(陽)9 月、ヨーロッパ・ユーラシア・中東・北アフリカ圏創立大会 (40 カ国 450 人)、(陽)10 月、中南米圏創立大会 (30 カ国 550 人)、(陽)11 月、東アフリカ圏創立大会 (18 カ国 350 人) を開催した。そして最後のフィナーレとして、天一国 4 年 天暦 11 月 2 日 (2016.11.30)、アメリカワシントン D.C. の連邦議事堂内ラッセル上院オフィスビルのケネディコーカスルームで、世界平和国会議員連合 (IAPP) 北米大陸創立式 (56 カ国 300 人) を挙行し、世界的な組織として成長した。

このような土台の上で、天一国 6 年 天暦 1 月 8 日 (2017.2.4) の「IAPP 世界総会」では、120 カ国の現職国会議員 450 人が参加する中、「北東アジアの危機克服と韓半島平和統一に向けた IAPP のビジョンと役割」をテーマに、北朝鮮の核武装に強く反対するとともに、「2023 年南北共同オリンピック開催」、「DMZ 平和公園造成」など、韓半島の平和を促す「世界平和国会議員ソウル宣言文」を採択した。

天一国 6 年 天暦 12 月 2 日 ~3 日 (2018.1.18~19) には、セネガル政府と共同開催の「2018 アフリカサミット」で「神アフリカ : 共生共栄共義と普遍的価値」をテーマに、マッキー・サル セネガル大統領をはじめとする大統領代行 20 人、前職大統領および首相 11 人、現職長官 35 人、国会議長および国会副議長 17 人、国会議員 295 人、宗教指導者 88 人、族長 110 人、女性指導者、ビジネスリーダー、マスコミ関係者、青年指導者、市民団体の指導者を一堂に集め、54 カ国 (ガーナ、南アフリカ共和国、ナイジェリア、







1. 2016北米圏IAPP創立大会の基調演説をされる真の父母様 (米ワシントンD.C.連邦議会議事堂)
2. 2016中米圏IAPP創立大会 (中央アメリカ、カリブ海圏)
3. 2022年ワシントンタイムズ招聘、韓・米国会議員による国会懇談会(韓国国会議事堂)

リビア、マリ、スーダン、アルジェリア、アンゴラ、エチオピア、エジプト、ジンバブエ、カメルーン、ケニア、コンゴ民主共和国など) 合わせて約 1,200 人の指導者が参加し、アフリカ最南端の希望峰からヨーロッパとアジアを経て韓半島まで、鉄道と道路を結ぶ「ピースロードプロジェクト」を採択した。

世界平和国会議員連合 (IAPP) は、天一国 8 年 天暦 1 月 11 日 (2020.2.4)、新型コロナが全世界で猛威をふるう中、高陽市一山のキンテックスで非対面方式のインターネット生中継により「新型コロナのパンデミック事態と各種自然災害」、「国家間の葛藤問題の解決方案」、そして「北朝鮮の核問題解決」をテーマに「世界総会」を開催し、全世界の正義感ある国会議員たちが、紛争と葛藤を減らし平和を確立することのできる方案について議論した。

特に天一国 10 年 天暦 7 月 14 日 (2022.8.11) には、ワシントンタイムズを招請し、韓米の国会議員による国会懇談会が韓国国会議事堂で行われた。6 人の与野党議員が「韓半島の平和と繁栄、韓米協力で描く神統一韓国」というテーマで、米下院議員およびインド·太平洋専門家、ワシントンタイムズの役員たちが、主要な安保懸案について意見を交換した。

世界平和言論人連合

(IMAP, International Media Association for Peace)

道義世界創建と世界平和の実現、そして自由民主体制拡散のために創刊された韓国のセゲイルボとアメリカのワシントンタイムズ、日本の世界日報など、この半世紀の間、世界言論人会議、韓半島平和カンファレンスなど、様々な言論活動を通じて、自由と人権、人間の価値と正しい言論像を提示している。

1978 年からアメリカのニューヨークとイギリスのロンドン、日本の東京、ロシアのモスクワなど、世界主要都市で「世界言論人会議」を開催し、議論を拡大させてきた。特に 1990 年にソ連のモスクワで開かれた世界言論人会議での「文鮮明 - ゴルバチョフ単独会談」は、韓国とソ連の国交樹立に寄与し、冷戦時代の緊張緩和と平和増進に大きな役割を果たしたと評価されている。

天一国 8 年 天暦 1 月 9 日 (2020.2.2~3) に、蚕室のロッテホテルで行われた「2020 世界平和言論大会」で、「韓半島の平和のための言論人の役割と使命」、「メディアの革新と課題」、「共生·共栄·共義の世界平和構築のための言論人の使命」について集中的に議論が行われ、メディアが先導的役割を果たせるよう協力体系を構築すべきだという点で意見を一致させるために、「世界平和韓半島平和統一と共同繁栄のための言論人宣言文」を採択し、世界平和言論人連合 (IMAP) を創立した。



ワシントンタイムズ創刊40周年記念式(蚕室ロッテホテル)

世界平和宗教人連合

(IAPD, Interreligious Association of Peace and Development)

「多くの川の水が合わさって滝となり、大洋に向かうと言いました。すべての宗教が行くべき目的地は大洋です。」(2018.11.21)

世界平和宗教人連合は、天一国 5 年 天暦 9 月 25 日 (2017.11.13)、蚕室のロッテホテルで「宗教指導者と宗教団体の役割と責任」というタイトルで、世界平和統一家庭連合をはじめとするキリスト教、仏教、カトリック、儒教、ユダヤ教、イスラム教、大宗教、韓国天理教、天道教、シーク教の信徒ほか、約 20 の宗教指導者約 500 人が参加する中で創設された。

「天の父母様の下、人類一家族」の理想を実現し、人類の安寧と相互尊重、宗教人の霊性回復、宗教の葛藤と紛争の解決、そして普遍的宗教の教えを追求して宗教人の役割と方向を提示する。

世界平和宗教人連合 (IAPD) は創設以来、韓国世界平和宗教人連合 (IAPD) 結成大会、5 つの地区単位で世界平和宗教人連合 (IAPD) 結成大会、世界平和宗教人連合 (IAPD) 世界総会、世界平和宗教人連合 (IAPD) 宗教平和聖地巡礼、国際宗教人平和セミナーを先導し、超宗教超宗派による世界平和運動を展開している。

世界平和宗教人連合 (IAPD) は、天一国 8 年 天暦 1 月 15 日 (2020.2.4) にキンテックスで開かれた「IAPD 世界総会」に、94 カ国から約 1,100 人が参加し、韓半島の平和が世界の平和であることを伝える「世界平和宗教人平和宣言文」を提唱して世界から注目された。

その土台の上で、天一国 10 年 天暦 7 月 15 日 ~16 日 (2022.8.12~13) に蚕室のロッテホテルで開かれた「IAPD アフリカカンファレンス」に、アフリカユニオンの 54 カ国を代表する 40 人余りの教団指導者が参加する中、「普遍的霊性の回復」というテーマで意見を共有した。それだけでなく「サミット 2022& リーダーシップカンファレンス分科セッション」では、157 カ国の南北共同修交国の首相および、政治、経済、宗教、言論、学術分野の指導者、グローバル市民約 1,000 人が参加し、「宗教の自由」をテーマに「宗教の普遍的人権宣言文採択」、「IAPD 公式機構化」、「普遍的霊性回復のプラットフォーム」について意見を共有する時間を持った。その連続線上で、天一国 10 年 天暦 7 月 16 日 (2022.8.13)、ソウル龍山の天苑宮天勝教会で開かれた「IAPD 総会」に、全世界の宗教指導者たちが一堂に会し、強制改宗などの宗教迫害による弊害を指摘し、「普遍的人権と宗教の自由」決議文を採択した経緯がある。









1. IAPD国際カンファレンス及び韓国結成大会
2. 2020 IAPD総会
3.4. ワールドサミット2022 IAPD総会（ソウル龍山天苑宮天勝教会）

世界平和経済人連合

(IAED, International Association for Peace and Economic Development)

「人類の歴史は、度重なる戦争と葛藤により、これ以上未来が見えておらず、国連が創設されて 70 年が過ぎましたが、議題を統一するのが難しいのは、宇宙の根本である創造主神様を知らずに、自国の利益を優先させるためです。参加された皆様が世界を救い、天の父母様の夢、人類の願い、平和の国、地上天国を成し遂げる主役になられることを祈ります。」(天一国 8 年 天暦 1 月 11 日、陽 2020.2.5)

経済的差別のない平和理想世界を作るために生涯を捧げた文鮮明☒韓鶴子総裁の意志を受け継ぐため、世界各地で経済関連の財団や企業の経営者たちが、共生主義の価値伝播と経済の平準化を目的として、世界平和に向けた経済人の役割について模索し、経済人のグローバル協力ネットワーク構築をするために、天一国 8 年 天暦 1 月 11 日 (陽 2020.2.4)、京畿道高陽市一山のキンテックスで、HJ マグノリア世界財団とロジャーズホールディングスが共同で「韓半島平和統一と共同繁栄のための経済人宣言文」を採択し、世界平和経済人連合を創設した。

世界平和経済人連合 (IAED) は「韓半島平和のための経済協力方案」というテーマで、対北朝鮮制裁にもかかわらず順調な北朝鮮の経済状況を分析し、韓半島統一以降の韓国社会が進む方向を提示した。

今後、世界平和経済人連合 (IAED) は UPF の協力団体と力を合わせ、世界各地にネットワークを構築し、共に生きる共生主義を基盤とした経済人のグローバル協力ネットワークの構築方案、企業の社会的責任と社会的価値への投資、環境および自然保全、経済的差別のない平和世界などの模範事例を提示し、これを共有し持続可能な実践方案の議論をめざす。





1. 2020 HJマグノリア財団カンファレンス
2. 2020 IAED創設(一山キンテックス)

世界平和学術人連合

(IAAP, International Association of Academicians for Peace Conference)

「74 億の人類がみな、健康で良い生活ができ、自由と統一と幸福を享受できる、そのような神様を中心とした人類一家族の地上天国を築くために、皆様の努力が切実に必要であるため、この科学者大会を復活させているのです。」(天一国 5 年 天暦 1 月 8 日、陽 2.4)

世界平和学術人連合 (IAAP) は、学問を通じて世界平和実現に寄与しようという各分野の学者が集まり、現代文明の危機を克服し、東洋と西洋の文化的葛藤を解消し、絶対価値によって人間と人間、人間と自然が共存する平和世界実現を目指し、多様な学術的討論と連帯を模索するため、天一国 8 年 天暦 1 月 12 日 (2020.2.5)、韓国ソウルで創設された。

1972 年に科学の統一に関する国際会議 (ICUS) で、神様を中心とした絶対的価値観樹立のための知識交流を目的に「科学の道徳的起源」をテーマとして会議を開催して以来、これまで統一思想研究院 (UTI)、世界科学技術研究所 (WRIST)、世界平和教授アカデミー (PWPA)、科学の統一に関する国際会議 (ICUS)、孝情学術財団、天一国学術苑などが参与し、学者たちが進むべき方向と役割について正しい価値観を提示している。

世界平和学術人連合 (IAAP) は天一国 10 年 天暦 7 月 16 日 (2022.8.13)、ソウル蚕室のロッテホテルで「平和と統一の道」をテーマに国際学術大会を開催し、各分野の専門家たちが参加して「神統一韓国のビジョン」、「God Conference と天の父母様聖会」、「科学の統一運動」、「女性運動と家庭、青年運動」、「言論と経済」、「人格教育と大学の百年大計」のセッションで分科別テーマに沿った持続可能な韓半島平和統一と世界平和運動、平和のための宗教和合および一致、科学の統一に関する国際会議運動の未来地平などについてスポットを当てた。ビジョンを共有しながら活発な活動が続けられている。



①


②

1. 2021年文鮮明天地人真の父母天宙聖和9周年記念国際学術大会(鮮鶴UP大学院大学校国際会議室)
2. 2022国際学術大会(蚕室ロッテホテル)

世界平和芸術人連合

(IAACP, International Association of Arts and Culture for Peace)

「天の父母様の前に愛と喜びの頌栄を捧げる美しい心情文化革命のための世界平和芸術人連合を創設し、世界が一つになる道を作ります。」(天一国 8 年 天暦 10 月 1 日、2020.11.22)

世界平和芸術人連合 (IAACP) は、天一国 8 年 天暦 10 月 8 日 (2020.11.22)、世界 194 カ国から 100 万人余りが参加する中、「第 3 回神統一世界安着のための 100 万オンライン希望前進大会」で発足した。

文鮮明☒韓鶴子総裁は、かつて世界平和への道の一つが芸術であることを強調され、心情文化を実体的に花咲かせることのできるリトルエンジェルス芸術団とユニバーサルバレエ団などの文化芸術団体を創設された。これらによって韓国の国威宣揚はもちろん、南北の文化交流や世界平和の実現に尽力し、一万回近くの公演によって、世界各地に自由と平和と統一と幸せの理想世界実現の基盤を造成してきた。

今後、世界平和芸術人連合 (IAACP) は、世界中の文化芸術人が一つの目的をもって集い、美・真・善を中心とした心情文化芸術を通じて、人類が平和的に共存しながら文化的生活を享受できるよう、超国家・超宗教・超文化的文化芸術交流の場を築いていくことをめざす。







世界平和芸術人連合創設(第3回希望前進大会)

鮮鶴平和賞
Sunhak Peace Prize

鮮鶴平和賞は文鮮明、韓鶴子総裁の「神様の下人類一家族」の平和ビジョンを称え、全世界で人類の未来平和構築のために多大に貢献した人々を称えるために 2014 年に制定された国際平和賞である。 鮮鶴平和賞は設立者の平和ビジョンを基に、未来の人類一般まで考慮する拡張的平和観を土台としており、設立者の全方位的平和運動を称え、「人権尊重」「葛藤和合」「生態保全」の 3 大スローガンを追求している。

鮮鶴平和賞は毎回授賞式を基にして、人類共同の運命のための未来平和アジェンダを提示している。

2015 年に行われた第 1 回授賞式では「気候変化」を、2017 年の第 2 回授賞式では「グローバル難民危機」を、2019 年の第 3 回授賞式では「アフリカの人権と開発」を、2020 年の第 4 回授賞式では「宗教平和とグッドガバナンス」を提示し、2022 年の第 5 回授賞式では「グローバル感染症対応」を提示している。

鮮鶴平和賞は未来世代の平和と福祉に寄与した個人および団体を発掘し、隔年で授賞式を行っており、単一賞としては世界最大規模の賞金を受賞者に授与する。



歴代受賞者

天一国 2 年天暦 6 月 26 日 (2014.7.16)、鮮鶴平和賞委員会発足以来、未来世代の平和と福祉に貢献した個人や団体に与えられる第 1 回鮮鶴平和賞授賞式が天一国 3 年天暦 7 月 15 日 (2015.8.28) ソウル江南区グランドインターコンチネンタルホテルで開催された。第 1 回鮮鶴平和賞受賞者は共同受賞として、アノテ・トン キリバス共和国大統領（63）とインドのモダドゥグ・ビジャイ・グプタ博士（76）が選定された。

受賞当時、現職であったアノテ・トン元大統領は、世界の気候危機の深刻性を国際社会に知らせ、解決策の模索に努めた功労が認められた。グプタ博士は魚種改良を通じて魚の生産量を増やし、東南アジア貧民の飢餓および栄養失調解決のために養殖技術を普及するなど、人類の食糧問題の危機解決策を提示し、その功績を大きく評価された。

授賞式には、海外の前・現職大統領および総理約 10 人、アフリカ VIP および事業家 20 人、海外の国際関係者、政・官界、学界、財界、言論界、宗教界を代表する 1,000 人余りの人々が参加し、盛況を呈した。

受賞の感想

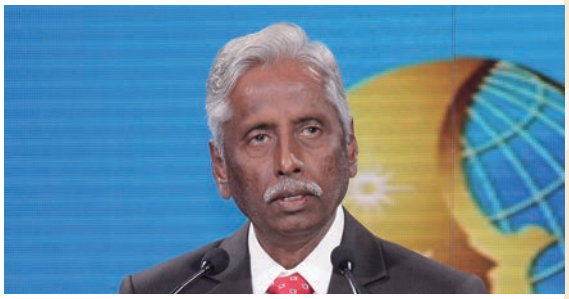
＜アノテ・トン大統領＞

「国連のような国際機関以外でも、気候変動が世界平和のための重大な課題であることに注目しているという事実が非常に鼓舞される。鮮鶴平和賞受賞を通じて気候変動の深刻さをより広く知らせ、解決策づくりの知恵を集める契機となり、大変嬉しい。」

＜モダドゥグ・ビジャイ・グプタ博士＞

「鮮鶴平和賞の受賞により、飢えと貧困を減らし、平和な人類共同体を築こうとする目標を達成する新しいエネルギーを得ることになった。飢餓と貧困解決のために、同じ道を歩んできた全世界の仲間たちとこの大きな喜びを分かち合いたい。」









(上段左から) 第1回鮮鶴平和賞共同受賞者のアノテ・トン大統領とモダドゥグ・ビジェイ・グプタ博士
(下段左から) 授賞式後の記念撮影、第1回鮮鶴平和賞授賞式での祝賀公演(曺秀美とリトルエンジェルス合唱団)

第 2 回鮮鶴平和賞授賞式が、天一国 5 年天暦 1 月 7 日 (2017.2.3) 蚕室 (チャムシル) ロッテホテルで開催された。受賞者は共同受賞でジーノ · ストラーダ博士（68）とサキナ・ヤクービ博士（66）が選ばれた。

ジーノ · ストラーダ博士は国境を越えた人類愛により、去る 28 年間、世界紛争の最前線で難民および戦争犠牲者に「緊急医療救護」を展開し、800 万人の生命を生かした功績が高く評価された。

サキナ · ヤクービ博士は戦争で廃墟となったアフガン難民村で 1300 万人を「教育」し、難民再定着の解決策を提示した功労が大きく認められた。

授賞式にはアノテ・トン　元キリバス共和国大統領が祝辞を務め、海外の前 · 現職大統領、副大統領などをはじめとする政官界、学界、財界、言論界、宗教界を代表する 800 人余りの人々が参加した。

受賞の感想

＜ジーノ·ストラーダ博士＞

「賞を頂き、大変光栄だ。韓国で私たちが行っていることについて知り、関心があるということを知らなかったので、一方では驚いた。平和をテーマに賞を与えるというのは大変大きな意味があると思う。単純に平和について話すだけではなく、実践して行動に変えられるように努力してほしい。」

＜サキナ・ヤクービ博士＞

「賞を頂くことになり、大変興奮しており、幸せだ。世界的に様々な問題が乱立した状況で難民問題を再評価してくれたことに対しても感謝であり、特に平和賞ということで非常に大きな意味があると感じる。特に私は神が、私たち皆を平等な人間として創造されたと信じる宗教的な人間であるので、全世界のすべての人が教育を受け、全体論的教育システムにより同等な教育機会を得るならば、貧困と疾病を克服することができ、戦争もなくなるであろう。」









(上段左から) 第2回鮮鶴平和賞共同受賞者のジーノ·ストラーダ博士とサキナ·ヤクビ博士
(下段左から) 授賞式後の記念撮影、第2回鮮鶴平和賞授賞式の祝賀舞台(音楽監督パク·カリンとミュージカル俳優チェ·ジェリム)

第 3 回鮮鶴平和賞授賞式が、天一国 7 年天暦 1 月 5 日 (2019.2.9)、蚕室ロッテホテル・クリスタルボールルームで開催された。受賞者は共同受賞でアキンウミ・アヨデジ・アデシナ博士（58）と ワリス・ディリー女史（53）が選ばれた。

アキンウミ・アヨデジ・アデシナ博士は農業経済学者として、30 年間、アフリカ農業を革新し、大陸全域の数億人の食糧安全保障を改善し、グッドガバナンスでアフリカ大陸の経済発展を促進した功績が大きく認められた。

ワリス · ディリー女史は数千年間続いた女性割礼（FGM:Female Genital Mutilation）の暴力性を全世界に知らせ、この悪習を根絶するための国際法制定の先頭に立ち、割礼の危機に瀕した数億人の幼い少女たちを救った功労が高く評価された。

授賞式には海外前 · 現職大統領および総理約 10 人、アフリカ VIP および事業家 20 人、海外前 · 現職国会議長および国会議員など国際的関係者が多数参加し、政官界、学界、言論界、宗教界を代表する計 1000 人余りの人々が参加した。

受賞の感想

＜アキンウミ・アヨデジ・アデシナ博士＞

「鮮鶴平和賞を制定し、授与してくださった韓鶴子総裁に、まず感謝を伝えたい。人類には生命を奪う銃より米と種がより必要である。聖書のイザヤ書にある『槍を打ち直して鎌とする』という聖句のように、戦争もなく不正のない政府となり、飢餓の解決に乗り出す時である。」

＜ワリス · ディリー女史＞

「韓国に来てよかった。本当に美しい国だ。私を受賞者に選定してくださった鮮鶴平和賞委員会に感謝する。これまで女性割礼禁止など女性や子供たちを対象にした暴力終息のために働いてきた。私の活動の目的と方向は、教育を通じてアフリカ人の生活を改善することにある。そのためにたくさん悩みながら、私が作った財団もそれを成し遂げるために努力している。」









(上段左から) 第3回鮮鶴平和賞共同受賞者のアフリカ開発銀行(AfDB)のアキンウミ·アデシナ総裁と人権活動家のワリス·ディリーさん
(下段左から) 授賞式後の記念撮影、祝賀公演を行ったリトルエンジェルス団員と受賞者の記念撮影

第 4 回鮮鶴平和賞授賞式が、天一国 8 年天暦 1 月 12 日 (2020.2.5) 一山 (イルサン) キンテックスで開催された。 受賞者は共同受賞としてマッキー・サル セネガル大統領（60）と ムニブ・A・ユナン 元 ルーテル世界連盟議長（73）が選ばれた。今回の授賞は特別に、設立者誕生 100 周年を記念して、設立者特別賞が制定され、設立者特別賞は潘基文（パン・ギムン）元国連事務総長（78）に贈られた。

授賞式にはナイジェリアのグッドラック・ジョナサン元大統領および海外前・現職大統領および総理、アフリカ指導者と企業家、海外前・現職国会議長および国会議員など国際的な人々が多数参加し、政官界、学界、財界、メディアおよび宗教界を代表する計 5,000 人以上が参加した。

受賞の感想

＜ムニブ・A・ユナン 元 ルーテル世界連盟議長＞

「私は神の僕として、謙虚に鮮鶴平和賞を受けるためにこの場に立っています。私は『神様の下の一家族』というビジョンを提示して下さった、鮮鶴平和賞の設立者 文鮮明・韓鶴子ご夫妻に感謝致します。聖パウロは次のように書きました。『キリストは私たちの和平であられるので、自己の肉体から 2 つを 1 つに作られたお方であられます。その方は途中で詰まった塀、即ち怨讐となったものを取り壊されました。『神はキリストにおいて世をご自分に和解させ、その罪過の責任をこれに負わせることをしないで、わたしたちに和解の福音をゆだねられたのである。(コリント人への第二の手紙 05 章 19 節)』私はこの聖句のように、和解の使役をするために召命されました。 正義がなければ平和もあり得ませんし、許しがなければ和解もあり得ません。 ですから、私は私の人生の最後の息づかいまで、正義に基づいた平和のために努力し続けます。」

＜マッキー・サル セネガル大統領＞

「全世界を非常事態にした緊急保健問題により、準備中だったソウル訪問の日程を取り消すことになりました。故文鮮明総裁の聖誕 100 周年を迎え、深く敬意を表します。 私がこの賞を謙虚な気持ちで受ける理由は、鮮鶴平和賞は一人の受賞で終わるのではなく、今日の世界に平和文化と人類共生を広める上での大きな激励と原動力になるからです。このような脈絡で、私はアフリカ執行委員会の同意の下、鮮鶴平和賞の賞金 50 万ドル全額をアフリカ連合の平和基金として寄付することにしました。この基金が大陸レベルの平和活動を促進することを願っています。したがって、私は鮮鶴平和賞の受賞者として、皆様とともに鮮鶴平和賞の理想を忠実に実践することを決意します。」

＜潘基文 (パン・ギムン) 国連事務総長＞

「今日、皆さんの前に立つことができて大変光栄であり、第 4 回鮮鶴平和賞を謙虚にお受けしたいと思います。鮮鶴平和賞財団の多大な功労は、世界平和と持続可能な世界への道に必要な理解と協力、寛容を拡大していることです。 そのために私は平和、人間開発、共存、環境保護の重要性を確実に信じている先駆的な人々の理想をさらに発展させようとするこの賞を受けることになり、非常に誇らしく思います。この特別な栄



(左から) 第4回鮮鶴平和賞共同受賞者のルター派世界連盟のムニブ･ユナン前議長、マッキー･サルセネガル共和国大統領、設立者特別賞を受賞した潘基文元国連事務総長

光をくださった鮮鶴平和賞財団の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。」

第 5 回鮮鶴平和賞授賞式が天一国 10 年天暦 1 月 1 日 (2022.2.12)、新型コロナウイルス感染症の社会距離戦略防疫指針を遵守し、非対面方式であるオンラインで京畿道 HJ グローバルアートセンターにて、オン・オフラインで連携したハイブリッド形式で開かれ、海外参加者のために 16 ヶ国語の同時通訳で行われた。

受賞者は共同受賞で、オックスフォード大ワクチン学教授のサラ・ギルバート博士 (59) と GAVI アライアンス (Gavi、the Vaccine Alliance、2000 年設立) が受賞した。設立者特別功労賞は東南アジアの持続可能な発展と繁栄のためにリーダーシップを発揮した、カンボジアのフン · セン首相（71）に贈られた。

受賞の感想

＜サラ · ギルバート教授＞

「再び伝染病に対応しなければならない時、政府と国際機関が手を握って働き、2020 年よりさらに徹底的に準備された姿を備えるよう願う。」

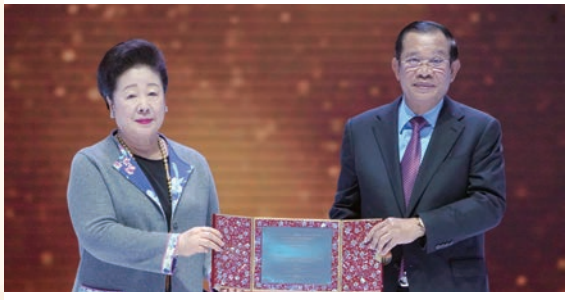
＜ GAVI アライアンスのセス · バークレー代表＞

「保健こそ平和の世界の根幹であり、病気をせずに子供たちが学校に行くことができれば、親達が本業に集中することができ、国が繁栄する。鮮鶴平和賞の精神は 2000 年以降、GAVI アライアンスが追求してきた精神と同一であり、COVAX ファシリティとプラットフォームを設置し、全世界が公平で均等なワクチン供給を実施し、パンデミック終息のために努力している。」

＜フン · セン　カンボジア首相＞

「今回の受賞は私一人で成し遂げたことではなく、カンボジアに平和を建設するために共にした多くの方々がこの賞を受ける資格がある。戦争と平和におけるカンボジアの経験を通じて『平和がなければ希望はない。平和がなければ発展はない。平和がなければ人権と民主主義に対する尊重もない。』と強調したい。『平和は漠然とした夢ではなく、具体的な行動だ』とされる文鮮明、韓鶴子総裁の信念に同意する。」




(上段左から)　第5回鮮鶴平和賞の共同受賞者である新型コロナウイルス感染症ワクチンを開発した英国オックスフォード大学ジェンナー研究所のサラ·ギルバートワクチン学教授とワクチンの公正分配を主導してきたGAVIアライアンス、設立者特別賞を受賞したカンボジアのフン·セン首相　(下段左から) カンボジア フン・セン首相に設立者特別賞を授賞する真の父母様、受賞者たちの記念撮影

孝情世界平和財団
Hyojeong World Peace Foundation

「私は孝情世界平和財団をさらに発展させ、すべての人類にまんべんなく恩恵を与え、
本来の天のみ旨と真の父母として生きてきた私たち夫婦のみ旨が何であるのかを知らせるでしょう。
今後、この財団を通じて、多くの人材と各界各層で平和のために努力する人々が
より大きな役割を果たすことが出来るよう、大きな力となります。」(2013.2.20)

文鮮明総裁は 2011 年天暦 7 月 17 日、ラスベガス天和宮で、平和思想とビジョン宣揚、人材養成支援、奉仕と分かち合いの実践を通じて「平和の夢を実現していく」という理想を掲げ、「圓母平愛財団」を提唱された。

韓鶴子総裁は、文鮮明総裁の遺志を引き継ぎ、文鮮明総裁が生前乗っていたヘリコプターを売却した代金を資本とし、奨学財団設立を指示された。

韓鶴子総裁は 2012 年 9 月、圓母平愛財団準備委員会を発足し、2013 年 2 月 20 日、天正宮博物館で「圓母平愛財団」を通じて圓母平愛財団出帆式を開催した。

韓鶴子総裁は圓母平愛財団出帆式で「70 億人類に天の父母様と天地人真の父母様のみ旨を伝えなければならない。」という使命を明らかにし、奨学生たちに人類のための希望の灯になることを祝願した。





「圓母平愛財団」は、文鮮明・韓鶴子総裁ご夫妻の志を広げ、毎年、奨学生証書授与式および奉仕賞授賞式を開催し、奨学・教育事業のみならず、宗教和合事業、各種記念事業、社会貢献事業までその範囲を拡大し、多方面でビジョンを示すことが出来るように、2016 年 10 月 13 日付けで財団名称を「HJ 世界平和財団」に変更した。

「HJ 世界平和財団」は、2013 年、「未来の平和世界実現のための環境創造」というビジョンの下で設立された非営利財団である。「HJ 世界平和財団」は平和世界創建のための未来世代に、鮮鶴平和賞を授与し、国連刷新運動をはじめとする東西和合のための文化芸術の交流協力、平和学術活動支援を展開するなど、平和世界建設に貢献する全世界の人材を超人種・超宗教・超国家的次元で発掘・育成・教育・管理している。

圓母平愛財団

圓母平愛財団は 2013 年 2 月 20 日、天正宮博物館で「第 1 期奨学生奨学証書授与式および奉仕賞授賞式」を行い、全世界約 700 人の高校生、大学生を選抜し奨学金を伝達した。

「文総裁の遺志を受けて設立された圓母平和財団が、国民皆が礼賛し尊敬する財団となり、韓国だけでなく世界人類の幸福と平和を守る礎となるであろう。」　李壽成（イ・スソン）元国務総理

天一国 2 年 1 月 10 日 (2014.2.9)、天正宮博物館にて、韓国内奨学生 400 人と海外奨学生 1055 人を代表した海外奨学生 50 人が参加する中、「第 2 期圓母平愛財団奨学証書授与式」を開催した。

第 2 期奨学生に選定された海外 1,055 人の奨学生 (外国国籍者) は、財団の奨学金支援を通じて現地で多様な学習支援を受ける一方、韓国に入国して韓国文化を学び、グローバル人材として成長できる機会を

提供される。これらグローバル人材養成は忠清南道牙山（アサン）に位置する鮮文大学が担当することになる。その他にも、圓母平愛財団は大学院専門課程で、全世界の優秀人材を毎年 40 余名ずつ選抜し、学費と生活費の一切を支援し、彼らが未来指導者として成長できるよう積極的に支援している。一方、第 2 回を迎える圓母平愛奉仕賞は、個人 5 人と 5 団体が選ばれ、受賞した。

「文鮮明・韓鶴子総裁を国と同胞のための真の愛国者だと考えてきたし、常に韓国が生んだ偉大な世界的指導者だと考えてきた。未来社会は、人材が国と世界を経営するはずだが、その人材が圓母平愛財団のビジョンのように平和思想で武装した指導者であれば、世の中は一層平和になるであろう。圓母平和財団は統一グループだけでなく、韓国はもちろん世界の希望になる財団になると確信している。」

金乙東（キム・ウルドン）元国会議員

天一国 3 年天暦 1 月 10 日 (2015.2.28)、清心国際青少年修錬院で圓母平愛財団第 3 期「奨学証書授与式および奉仕賞授賞式」が世界 68 ヶ国約 2,000 人に授与された。この日の奨学金授与式では 68 ヶ国約 2,000 人に代わり、計約 600 人が参加する中で奨学金を受賞し、奉仕賞は優秀奉仕活動を展開した忠北多文化フォーラム、真の愛ヌリ他 8 つの個人と団体に授与された。

今年で 3 回目の奨学生を輩出した財団は、単に奨学金を支給することにとどまらず、平和世界のための人材を養成することに大きな意味を置いている。これに伴い、成績の良い学生だけを選抜するのではなく、家庭の事情が苦しい学生たちと社会公益のために活動してきた学生たちにも平和への夢があれば誰でも奨学金を支援しているのである。特に、国内はもちろん、世界中の地域にまんべんなく奨学生を選抜するために、恵沢を広げている。

「今後も圓母平和財団は、世界レベルの鮮鶴平和賞の制定をはじめ、記念事業、奨学事業、社会貢献事業などを通じて、社会と国家の葛藤を克服し、平和と統一に貢献していく。」

金玟河（キム・ミンハ）財団理事長

「圓母平愛財団の奨学金を受賞することができて嬉しい。世界のためを思う心を持つようになった。今回の奨学金を契機に、微力ながら世界の平和のために力になる人になることが出来るように努力したい。」

ルーマニア アデリーナ・ラージャ

天一国 4 年天暦 1 月 17 日 (2016.2.14) 京畿道加平清心国際青少年修錬院で第 4 回「2016 圓母平愛財団奨学証書授与式および圓母平愛奉仕賞授賞式」が行われ、国内外奨学生 2,000 人余りに奨学金が伝達された。圓母平愛奉仕賞授賞式では、昨年模範的な奉仕活動を展開した個人 5 人と新内総合社会福祉館、唐津多文化センターなど奉仕団体 5 ヶ所が選定され、受賞の喜びを分かち合った。







(左から) 2013圓母平愛財団出帆式、2015圓母平愛財団奨学証書授与式全景、2016圓母平愛財団奨学証書授与及び奉仕賞授賞

財団法人孝情世界平和財団

財団法人孝情世界平和財団は、2013 年 2 月に圓母平和財団として発足し、2016 年 10 月に名称とともに文化芸術、学術、鮮鶴平和賞の支援など、その活動領域を拡大した。

天一国 5 年天暦 1 月 9 日 (2017.2.5)、清心国際青少年修錬院で第 5 回「2017 孝情世界平和財団奨学証書授与式及び奉仕賞授賞式」を開催し、国内外の奨学生 2,000 人余りに奨学金を伝達した。

天一国 6 年天暦 1 月 9 日 (2018.2.24)、清心国際青少年修練院で国内外 800 人余りの奨学生が参加する中で、第 6 回「2018 孝情世界平和財団奨学証書授与式および奉仕賞授賞式」を開催し、国内外 74 ヶ国の奨学生 2444 人余りに奨学金を伝達した。同日、国内の 500 人の奨学生の中から、10 大宗教団体を代表する 80 人の奨学生、多文化家庭の子女 300 人余りと脱北民の子女たちにも奨学金が支給された。また、天一国 7 年 1 月 9 日 (2019.2.13)、京畿道加平郡清心国際青少年修錬院で第 7 回「2019 年鮮鶴奨学証書授与式および奉仕賞授賞式」を開催し、80 カ国余りの奨学生 3000 人余りに奨学金を支援した。

「韓鶴子総裁が文鮮明総裁の聖和基金の全額と、ヘリコプター販売代金など約 100 億円を基金として、孝情世界平和財団を設立した。1979 年に国際救護財団を設立し、食糧や医薬品を支援するなど、温かい母の心で、真の愛を全世界に実践してきた。」

ジョスレルム・プリベール　ハイチ元大統領

「鮮鶴に名称が変更されたのは、『神様の下、人類一家族理想の実現のために、真の愛の精神を宣揚し、平和世界の実現に貢献することを願うからである。これから皆さんが活動する舞台は全世界なので、私たちが世界のために重要な仕事をしなければならない時であり、世界の繁栄と平和に寄与する人材になることを願っている。」

孝情世界平和財団　文妍娥 (ムン・ヨナ) 理事長

「学生時代、韓日両国の文化の違いと両国の民族感情が悪化している姿を見て遺憾を感じ、将来の夢として、小学校教師になるために教育大学に入学し、学業を続けている。単に『よく』教える教師ではなく、国が異なり人種が違っても、平和な世界で生きていく人材を教育する教育者になることを夢見ている。」

チョン・スンミン君（釜山教育大学 3 年生）

天一国 8 年天暦 1 月 10 日 (2020.2.5)「第 8 回鮮鶴奨学証書奨学授与式」が、キンテックス第 1 展示場で、78 ヶ国約 2,500 人余りが参加する中で行われた。7 大陸から 2 人ずつ、14 人の学生が奨学金を代表で受け取った。財団によると、2020 年の奨学生の中には 10 大宗教を代表する奨学生 70 人も含まれた。それだけでなく、多文化家庭の子女 300 人余りと北朝鮮離脱住民の子女たちにも奨学金が支給された。この他にも模範的な奉仕活動を行った人物を選定し、授賞とともに副賞を授与した。





(左から) 2019鮮鶴奨学証書授与及び奉仕賞授賞、受賞者たちの記念撮影、祝辞を述べるハイチ共和国のジョスレルム･プリベール元大統領

文鮮明天地人真の父母天宙聖和10周年
大陸別記念行事
お父様に会いに行こう!

神アフリカ

	西アフリカ(8.20)	ザンビア (8.14)
場所	トーゴのロメ	ザンビアのルサカ
主管	世界平和統一家庭連合、天宙平和連合、 世界平和女性連合、 世界平和青年学生連合の共同主催	世界平和統一家庭連合、天宙平和連合、 世界平和女性連合、 世界平和青年学生連合の共同主催
参加人数	前·現職国会議員および宗教指導者51人	50人







神アジア太平洋 1

	タイ (8.14)
場所	タイのバンコク
主管	世界平和統一家庭連合
参加人数	400人余り



神アジア太平洋 2

	フィリピン (8.14)
場所	フィリピン本部教会、アンティポロ教会(4地区)、サンパブロ教会、バウアン教会(1地区)、イサベラ教会(2地区)、レガスピ&ナガ教会(5地区)、セブ&ボホール教会(7地区)
主管	世界平和統一家庭連合
参加人数	400人余り



神ヨーロッパ

	ヨーロッパ (8.14)
場所	アルバニア、アルメニア、オーストリア、ベラルーシ、ブルガリア、クロアチア、エストニア、フランス、ハンガリー、イタリア、レバノン、リトアニア、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、ロシア、スコットランド、スペイン、トルコ
主管	世界平和統一家庭連合
参加人数	宗教指導者を含む約1,000人







神アメリカ

場所	主管	参加人数
ワシントンDC	世界平和統一家庭連合、キャピタル家庭教会	195人
ジョージア州アトランタ	世界平和統一家庭連合、アトランタ家庭教会	40人
アラバマ州モービル	世界平和統一家庭連合、家庭教会	60人
アメリカアーカンソー州リトルロック	アーカンソー州家庭連合	キリスト教の司教2人を含む約40人
ユタ州ソルトレイクシティ	ソルトレイク家族教会	16人(真のお父様聖和10周年の日曜礼拝)
ロサンゼルス(モントレーパーク)、カリフォルニア	ロサンゼルス家庭連合、アメリカ聖職者協議会、天宙平和連合	ルロイ・バッカ元ロサンゼルス村長、リバカ保安官夫妻、スイートエリス・ハリス、15~20人のアメリカ聖職者協議会のキリスト教牧師を含む約200人









神中南米

	神中南米(8.14)
場所	シウダ·デル·エステ広域教会、エンカルナシオン市広域教会、各家庭
主管	パラグアイ家庭連合本部
参加人数	双方向プラットフォームのピースリンクで参加






パンタナール、レダ農場国際青年チームの奉仕活動

2022 国際青年チームの奉仕活動

2022 年 8 月 29 日から 9 月 9 日まで、南北米持続可能開発財団の主催する奉仕活動が行われた。パラグアイから 5 人、日本から 10 人、アメリカから 3 人、アルゼンチンから 1 人の合計 19 人が参加した。

今回の活動は、第 1 次、第 2 次の青年チームが、8 月 30 日と 31 日にパラグアイのレダに到着し、夕食会と歓迎式から始まった。成功的な活動を目指して、プエルト・レダとエスペランサで活動する青年ボランティアのためのプログラムと活動日程に従って行動した。

プエルト · レダでの活動

港町であるプエルト · レダで行われた様々な活動は、青年たちが学び、楽しみ、何よりもレダの歴史について多くのことを知るきっかけになった。9 月 1 日から青年たちは毎朝訓読会に参加し、佐野牧師と岩沢牧師が指導するカンファレンスに参加し、ピーター · パウロ、パブロ · チャベズ、島田さんの証詞を聞いた。

また、毎日パクーの養殖に従事し、釣り、歌の練習、農業の活動をした。牧畜と乗馬は兄弟たちから教わった。

9 月 9 日に国際青年チーム奉仕活動の閉会式が開かれ、参加者たちは成果を認める修了証を受け取った。レダは自然に囲まれている。ここの特徴は、真のお父様によって立てられたという大きな意味を持つ。そのような理由から、レダは真の父母様の心情を感じるために必ず体験すべき場所だ。

エスペランサでの奉仕活動

9 月 4 日の日曜日の午前中、参加者の 1 チームはパブロ · チャベスの率いる船に乗って、イニチタ (YNYCHTA) 原住民共同体の村があるエスペランサに行き、もう 1 チームは午後ピーター · パウロ率いる「新しい希望アメリカ」号に乗り込んだ。

翌日の 9 月 5 日には、食品医薬品安全処から生徒と教師に教材教具が寄付された開会式から奉仕活動が始まった。それだけでなく、ユソウボク



①


②


③



④


⑤

1. 希望港に向かって
2. 希望港到着
3. 子ども公園で遊ぶ地域社会の子どもたち
4. 校長にサッカーボールを渡す
5. 岩沢牧師のお話







学校外壁の壁画を描くボランティアチーム

で作った子供公園プロジェクト (学校の主要寄付事業) と、教室のカーテン、サッカーボール、バレーボールなどが寄付された。

ボランティアたちはエスペランサのエスクエラバシカで活動を始めたが、この活動は訓読会と朝食、そして学校の改善活動としてとても早く始まった。教育機関の改善事項は次の通り。

- 学校外壁のペイント作業
- 食堂の壁に絵を描きペイント作業
- タイヤの手工芸作業
- サッカー場の構造物に網を配置する作業
- 教室のカーテン設置作業
- 機関全体の清掃作業

与えられた活動であったが、青年たちは共同体の子供たちと一緒に過ごす時間を作り、同じ言語を使わなくても純粋な心があれば限界を越えられるということを示してくれた。

奉仕活動は９月５日と６日の２日間行われ、９月７日には学校、大学、地域の学生によるパレードに参加して、ダンスや騎手などの文化活動を披露した。2022 国際青年チームの他、基礎学校の生徒と教師たちもパレードに参加し、歌手ディエゴ・トーレスの代表曲「希望の色」を歌い、何も不可能なことはない、ただ恐怖をなくし夢のために戦う問題だけだというメッセージを伝えた。

パレードが終わると、ホセ・オルメド教授は、ボランティアたちのすべての活動に感謝の気持ちを伝え、食品医薬品安全処からの無条件的支援に対して、特別に感謝の気持ちを伝えた。ボランティアの佐野みちひとさんと山崎あきひろさんが、ホセ・オルメド教授にプレゼントを渡した。同日午後、メンバーは全員レダに戻り、９月９日まで活動した。

奉仕活動の結果

エスペランサは、どの若者にとっても困難な場所だった。なぜなら、電気がしっかり通っておらず、飲料水も不足し、多くのメンバーが、提供されない必需品を自分で持ってきたからだ。彼らは、普







食堂壁画ボランティアとタイヤの手工芸作業を行うボランティアチーム

段の生活の中で得ているものが価値あるものだと思える方法を学ぶために、時には家や愛する人たち、安らかな生活から遠のく必要があると語った。

エスペランサで他人のために奉仕活動をするということは、多くのことを反省させられる独特な経験だった。特に堕落性本性から抜け出し、自分自身の心と体を一つにさせて、天の父母様とつながることは容易なことではなかった。

人間は誰しも、一人で成長することはできない。自分を取り巻く周囲の人々や自然万物と調和して生活するものだ。自分を中心とした考えや生活では変わることはできない。内的に神様と同化する生活、一致する生活によって、自分自身を復帰することができる。他人との関係の中で自らを自覚し他の人と調和して暮らすこと、宇宙の万物や自然の中で自らを自覚し一体感を感じることは、心と体を一つにすることから始まる。

実際、このような考えや行動は、努力だけでできるものではない。しかし、心から信じる者に不可能というものはなく、挑戦してみる価値はある。私たちがこのように生活するなら、天の父母様と真の父母様が共になさることだろう。

世の中のすべての人がこのような基点と連結され、一人一人が自らの主体となって、自らの行動と生活を分析し反省してみる必要がある。

他人のために生きているのか
十分に与えているのか
天の祝福に対して十分感謝して生活しているのか
自分の使命は何か

私たち皆が人生において、こうした考えや行動を取らなければ、その生活がいくら素晴らしいものであっても、そこでは受動的な結果しか収めることができない。

心と体を一致させ、天の父母様に侍って生活していくなら、すべてに確信を持って行動することができるだろう。天の父母様の恵みの中で前進するなら、私たちの生活は完全に違うものになり、他の模範になれると確信する。自ら自分が望む人生を生きるためには、妥協してはならない。グローバルリーダーとして成長しよう!

